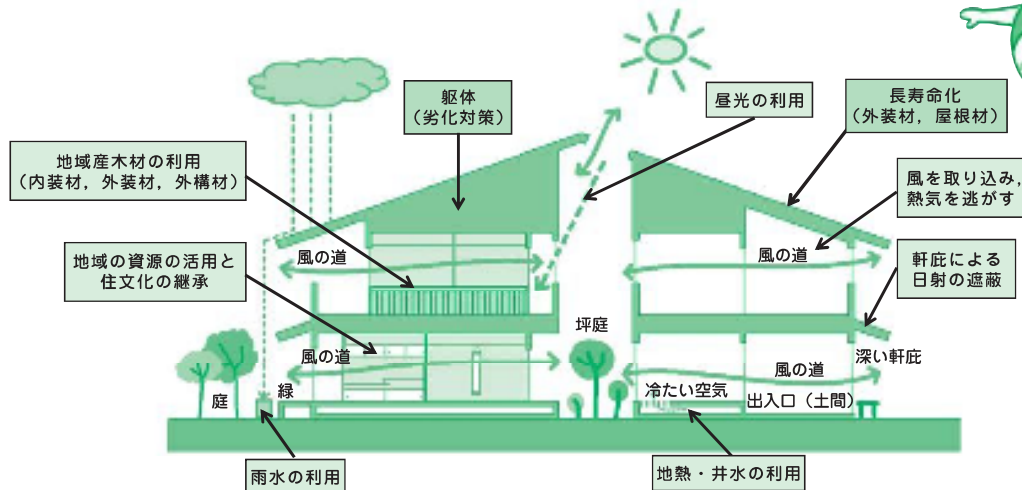


京都市環境配慮建築物顕彰制度

第1回「京環境配慮建築物」の募集

～京都にふさわしい環境配慮建築物のイメージ～



軒や庇による日射調整、通風・採光などの自然エネルギーの採用、地域産木材や古材の使用等の地域資源を活用した計画など、京都にふさわしい環境にやさしい建築物の普及・啓発を図るため、環境配慮建築物顕彰制度を創設しました。

この度、第1回「京環境配慮建築物」の顕彰候補となる建築物を募集しますので、ふるってご応募ください。

★ 募集期間 ★

平成24年10月1日(月)
～平成24年11月30日(金)
(必着)

★ 対象となる建築物 ★

- (1) 平成19年4月1日以降に新築、増築又は改修の工事が完成した建築物
- (2) 京都市内の建築物
- (3) 法令に適合するもの

★ 賞の種類 ★

全て候補の中から最優秀賞を1点、特別賞を数点、各部門から優秀賞数点選びます。ただし、ふさわしいものがない場合は「該当なし」とします。

- ◎ 一般建築物新築部門（戸建住宅を除く。）
- ◎ 戸建住宅新築部門
- ◎ 一般建築物改修部門（戸建住宅を除く。）
- ◎ 戸建住宅改修部門

なお、受賞者には表彰式を執り行います。また、受賞建築物は、京都市発行の印刷物、ホームページ等に掲載することがあります。



★ 応募方法 ★

所定の応募用紙に、以下の資料を添えて応募先へ持参又は郵送してください。持参される場合は、土日祝日を除く開庁時間内（8時45分～17時30分）に下記の応募先までお越しください。

（添付資料）

- ◎ CASBEE京都の標準システムによる評価（戸建住宅の部門による応募の場合は不要）
 - ◇ 評価結果シート
 - ◇ メインシート
 - ◇ スコアシート
- ◎ CASBEE京都の独自システム評価結果シート
- ◎ 図面（配置図、各階平面図、立面図、断面図）
- ◎ 写真、パース及びイラスト等による環境配慮のアピール資料（任意）
- ◎ 上記CASBEE京都の標準システム及び独自システムのデータ（CD、DVD等）

※ 応募用紙は、地球温暖化対策室、建築指導課、市役所案内所、区役所・支所等で配布します。また、建築指導課ホームページ（http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/soshiki/9-3-1-0-0_1.html）からもダウンロードすることができます。

※ 条例等に基づき、CASBEE全国版又はCASBEE京都による評価を既に提出された建築物は顕彰対象としますので、改めて応募の必要はありません。ただし、環境配慮事項の更なるアピールのために応募することを妨げるものではありません。

★ 審査選考 ★

「京都市環境配慮建築物選定委員会」において選考し、市長が顕彰建築物を決定します。

委員（五十音順、敬称略）

- | | | |
|-----|--------|--------------------|
| 委員長 | 小玉 祐一郎 | （神戸芸術工科大学デザイン学部教授） |
| 委員 | 岩井 吉彌 | （元京都大学大学院農学研究科教授） |
| 委員 | 栗山 裕子 | （京都府建築士会監事） |
| 委員 | 高田 光雄 | （京都大学大学院工学研究科教授） |
| 委員 | 近本 智行 | （立命館大学理工学部教授） |
| 委員 | 藤本 英子 | （京都市立芸術大学教授） |

★ 後援 ★

（五十音順）

- 一般社団法人京都建築設計監理協会
- 一般社団法人京都府建築士事務所協会
- 社団法人京都府建設業協会
- 社団法人京都府建築士会
- 社団法人全国中小建設業協会全中建京都
- 社団法人日本建築家協会近畿支部京都地域会

★ 応募先及び問合せ先 ★

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
京都市都市計画局建築指導部建築指導課環境配慮建築係（京都市役所北庁舎2階）

TEL 075-222-3620

FAX 075-212-3657

E-mail kenchiku-sidou@city.kyoto.jp



「^{みやこ}京環境配慮建築物」顕彰制度 受賞建築物概要

受賞建築物(敬称略)

1 最優秀賞

- 龍谷大学 龍谷ミュージアム
(建築主) 学校法人龍谷大学
(設計者) 株式会社日建設計

- ・セラミック素材の簾状構造物を外壁に設け、京都らしい外観とすると同時に、日射遮蔽効果と、壁面と簾との間で気流を逃がす効果で空調負荷を削減
- ・地域に開放したピロティ、敷地内の東西通り抜け通路を設置
- ・通り抜け通路に打ち水装置
- ・床吹出空調による良好な温湿度環境



2 優秀賞

- 戸建住宅新築部門 南禅寺の家
(建築主) 加藤 雅子
(設計者) トヨダヤスシ建築設計事務所
(施工者) 株式会社ツキデ工務店

- ・軒庇による外壁の保護，間取りの可変性や設備の更新性による長寿命化
- ・地域産木材，古材の活用，土塗り壁等の自然素材の積極利用
- ・大きな開口や落葉樹の植樹による自然環境，エネルギーの積極的利用
- ・近隣住宅の樹木と連続した庭造り
- ・平成の京町家認定住宅



■ 一般建築物改修部門 京都市立朱雀第四小学校

(建築主) 京都市教育委員会 教育長 生田義久

(設計者) 株式会社東畑建築事務所 香西喜八郎

(設計, 監理) 京都市都市計画局公共建築部

- ・ 既存校舎を連絡する渡り廊下の改修で、一体的に環境調整空間を整備
- ・ 駐車を「いのちの庭」として整備。地域住民やPTAも積極的にに関わり、地域コミュニティの場とする。
- ・ 地域産木材の積極的採用
- ・ 屋上緑化
- ・ 太陽光発電システム（最大出力 3kW）の導入
- ・ 雨水貯留槽の設置



■ 戸建住宅改修部門 紫竹西南町の住宅_日射し(庇)の家

(建築主) 八清 代表取締役 西村孝平

(設計者) 魚谷繁礼建築研究所

- ・ 古材が活用され、環境負荷を削減した建築
- ・ 既存建築物を最大限利用することで、まちなみ・地割などの継続性を担保する
- ・ 自然素材の積極的な利用による、景観・環境、歴史性への配慮
- ・ 通り土間や吹き抜け、高所に設けられた窓や屋根に設けられた天窓などにより、採光や通風を取り入れる工夫



3 特別賞

■ 凌風学園

(建築主) 京都市教育委員会教育長 生田義久

(設計, 施工) 鹿島・鉄建・北和・きんでん・新菱冷熱特定建設工事共同企業体

(設計, 監理) 京都市都市計画局公共建築部

- ・外壁に格子状構造物の設置による周辺景観との調和
- ・光と風の庭(エコボイド)による共用部への昼光利用及び通風の確保
- ・太陽光発電システム(最大出力 10Kw)の導入
- ・屋上緑化
- ・地域産木材の利用

